

気象庁の取組状況について

令和5年2月1日

気象庁 高松地方気象台

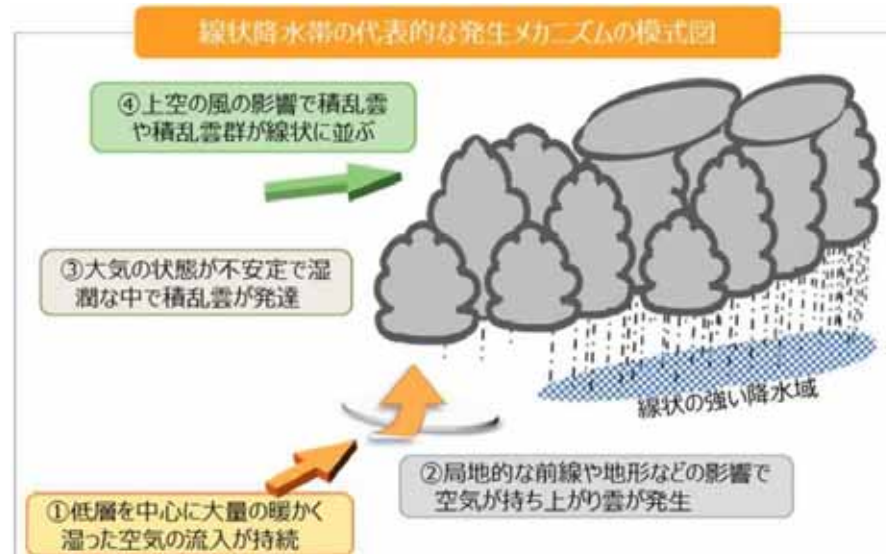
【気象庁 高松地方気象台】の取組状況（令和4年度末）

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

- 令和4年6月1日から実施
- 令和4年9月17日夕方から19日の夕方にかけての香川県気象情報などで発表

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを行う

- ・ 目的は線状降水帯による大雨の可能性を伝える
- ・ タイミングは半日前から
- ・ 対象地域は広域
- ・ 目標(対象地域)
令和6年度、県単位
令和11年度、市町村単位



※ 発生メカニズムに未解明な点も多く、今後も継続的な研究が必要不可欠

令和4年 台風第14号に関する香川県気象情報 第3号
令和4年9月17日17時43分 高松地方気象台発表

(見出し)

大型で猛烈な台風第14号は、香川県には19日午後にもっとも接近する見込みです。暴風、高波に警戒してください。また、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、高潮に十分注意してください。なお、四国地方では、18日午前中から19日にかけては、線状降水帯が発生して大雨災害発生のおそれが高まる可能性があります。

(本文)

大型で猛烈な台風第14号は、…
< 中略 >
見込みです。

[雨の予想]

台風周辺や台風本体の発達した雨雲により、台風の進路によっては、18日から19日にかけて、警報級の大雨となる可能性があります。

18日に予想される1時間降水量は、多い所で、
香川県 30ミリ

17日18時から18日18時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
香川県 70ミリ

その後、18日18時から19日18時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
香川県 100から150ミリ

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。また、台風の進路によっては、20日も警報級の大雨となるおそれがあります。

[風の予想]

< 後略 >

実際に発表した香川県気象情報

【気象庁 高松地方気象台】流域治水対策の状況（令和4年度末）

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

➤ 令和4年6月13日から実施

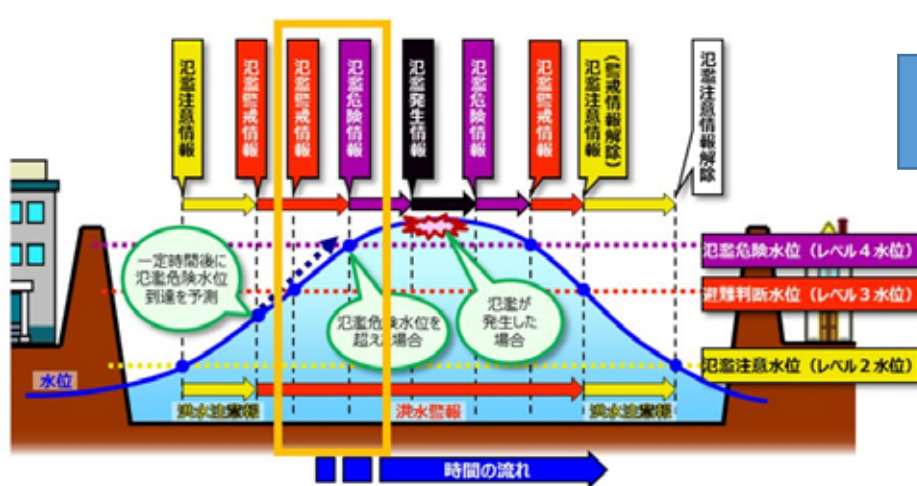
3時間先(土器川は2時間先)までの予測水位が所定の水位に到達した場合に、氾濫危険情報を発表

- ・目的はこれまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけることを可能とする
- ・氾濫危険情報は警戒レベル4相当(避難指示の目安)

洪水予報の標題(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
○●川氾濫発生情報(洪水警報)	氾濫の発生(氾濫水の予報)	氾濫水への警戒を求める段階【警戒レベル5相当】
○●川氾濫危険情報(洪水警報)	急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態、避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階【警戒レベル4相当】
○●川氾濫警戒情報(洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階【警戒レベル3相当】
○●川氾濫注意情報(洪水注意報)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階【警戒レベル2相当】

改善前

実況水位が氾濫危険水位に到達した場合に、氾濫危険情報(警戒レベル4相当;避難指示の目安)を発表



改善後

従来の運用に加えて、3時間先までの予測水位が所定の水位に到達した場合に、氾濫危険情報(警戒レベル4相当;避難指示の目安)を発表



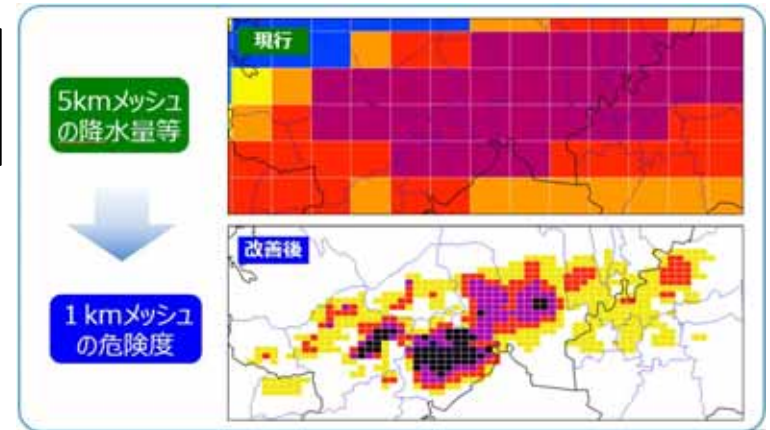
【気象庁 高松地方気象台】の取組状況（令和4年度末）

大雨特別警報(浸水害)の改善

➤ 令和4年6月30日から実施

災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報(浸水害)の新たな基準値を設定

- ・目的は、レベル5相当の情報としての信頼度を高め、自治体の防災対応を強力に支援
- ・現行指標での捕捉率を維持しつつ、可能な限り適中率が改善されるよう基準値を設定。
- ・5kmメッシュの降水量等を用いた手法から、1kmメッシュの「危険度」を用いた手法へ改善



大雨特別警報(浸水害)の新たな発表条件

以下の 又は を満たすと予想される状況において、当該格子が存在し、かつ、激しい雨がさらに降り続くと予想される市町村等に発表。

流域雨量指数の指標

流域雨量指数として定める基準値(洪水キキクル紫の基準からの超過率として都道府県毎に設定)以上となる1km格子が20個以上まとまって出現。

表面雨量指数の指標

表面雨量指数として定める基準値(浸水キキクル紫の基準からの超過率として都道府県毎に設定)以上となる1km格子が30個以上まとまって出現。

大雨特別警報(浸水害)指標の変遷と令和4年6月30日からの改善

発表指標	50年に一度の値 < 5kmメッシュ >			危険度分布の技術(指数) < 1kmメッシュ >				
	赤色箇所が 令和4年度 出水期から の改善箇所	長時間指標	短時間指標	土砂災害 数雨	極めて危険 (濃い紫)		大雨特別警報の指標 に用いる基準値	
					土砂災害	浸水 又は洪水	土砂災害	浸水
土砂災害	長時間指標	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	短時間指標	-	10格子	10格子	出現	-	-	-
浸水害	長時間指標	50格子	-	50格子	-	出現	-	-
	短時間指標	-	10格子	10格子	-	出現	-	-
土砂災害	長時間指標	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	新たな指標	-	-	-	-	-	10格子	-
浸水害	長時間指標	50格子	-	50格子	-	出現	-	-
	短時間指標	-	10格子	10格子	-	出現	-	-
土砂災害	新たな指標	-	-	-	-	-	10格子	-
	浸水害	長時間指標	50格子	-	50格子	-	出現	-
浸水害	短時間指標	-	10格子	10格子	-	出現	-	-
	土砂災害	新たな指標	-	-	-	-	10格子	-
浸水害	新たな指標	-	-	-	-	-	-	30格子 20格子
	新たな指標	-	-	-	-	-	-	30格子 20格子

※ 東京都伊豆諸島北部では令和元年10月11日より土砂災害の新たな指標を先行的に導入
 ※ 1kmメッシュ土壌雨量指数への移行が完了していない一部地域では、土砂災害の新たな指標を用いず短時間指標を引き続き適用

今回の改善

【気象庁 高松地方気象台】の取組状況（令和4年度末）

キキクル(危険度分布)「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

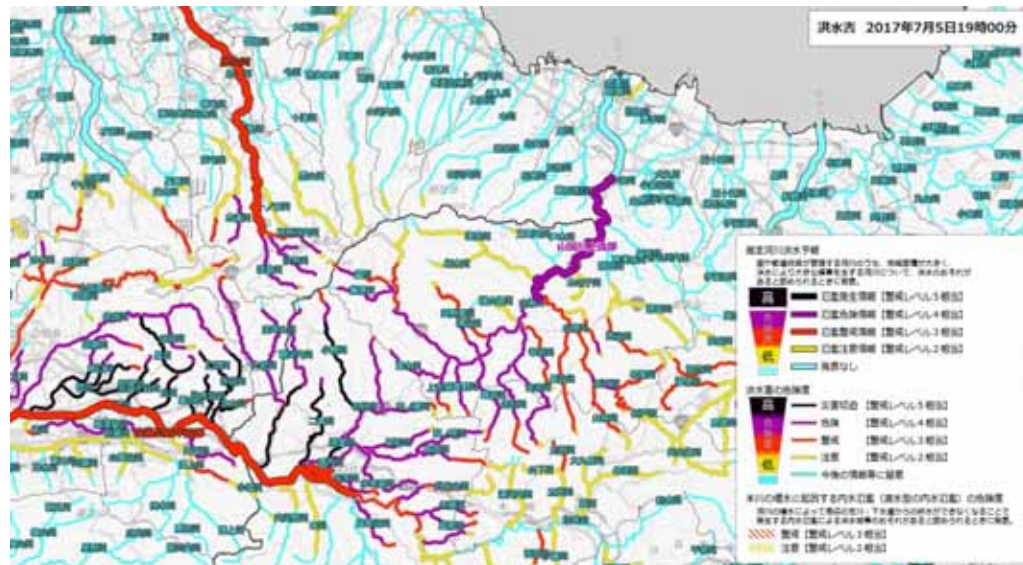
▶令和4年6月30日から実施

キキクル(危険度分布)「黒」の新設

- ・目的は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5 緊急安全確保の発令対象区域の絞り込みに活用

「うす紫」と「濃い紫」の統合

- ・目的は警戒レベルのカラーコードとキキクル(危険度分布)のカラーコードの一致



キキクル(危険度分布)のイメージ

改善後		改善前	
色	警戒レベル	色	警戒レベル
黒	5相当	濃い紫	-
紫	4相当	うす紫	4相当
赤	3相当	赤	3相当
黄色	2相当	黄色	2相当
白(水色)	-	白(水色)	-

特別警報基準値超過を「黒」で表示

警戒レベル4の「紫」と一致